

事務事業名		隣保館地域福祉事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	隣保館
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	隣保館		担当課長名	山口晃一
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 人権意識の高揚					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2039	一般	2	1	13	隣保館地域福祉事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H3年度～ 年度		根拠法令 条例等	社会福祉法及び施行規則					
	事業区分						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	事業区分						実施方法		直営		
事業区分						事業分類		健診・予防事業			
事業区分						リーディングプロジェクト		該当なし			
事業区分						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
<p>集団検診 主に隣保館周辺地域の住民を対象に、胃がん・肺がん・大腸がん検診及び健康相談等を実施する。</p> <p>健康教室(ウォーキング講習会) 積極的な健康への関心の喚起及び増進を図るため、健康教室を実施する。</p> <p>高齢者ふれあい事業 隣保館周辺の高齢者を対象に、孤立しがちな高齢者の生きがいを高めるとともに、健康増進を図るため、保育園児との交流やレクリエーション等を実施する。</p>	<p>高齢者ふれあい事業(10回) 毎月第3水曜日(8月・1月を除く) 参加者432名 集団検診(1回) 8月5日(火) 受診者 23名 ウォーキング講習会(1回) 10月29日(水) 参加者 14名</p>						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	高齢者ふれあい事業開催数	回	9	10	10	10	10
	集団検診開催数	回	1	1	1	1	1
	健康(ウォーキング)教室開催数	回	1	1	1	1	1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

地域住民及び市民	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	人口	人	123,182	122,582	121,522		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

地域住民及び市民の健康増進を図る。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	高齢者ふれあい事業参加者数	人	354	432	400	400	400
	集団検診参加者数	人	32	23	25	25	25
	健康(ウォーキング)教室参加者数	人	17	14	20	20	20

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市民が人権を意識しながら生活する。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	人権講演会参加者で、「日頃、人権を意識しながら生活している」と回答した参加者の割合	%	90.4	93.6	92.0	93.0	93.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円	198	218	229	229	229	229	229	229	229	
	地方債	千円										
	その他	千円	41	40	48	48	48	48	48	48		
	一般財源	千円										
	事業費計(A)	千円	239	258	277	277	277	277	277	277		
	事業費の内訳	千円	報償費	88	94	111	111	111	111	111		
			需用費	137	150	151	151	151	151			
			役務費	14	14	15	15	15	15			
			総計	239	258	277	277	277	277			
人件費	人	3	3	3	3	3	3					
のべ業務時間	時間	390	390	390	390	390	390					
人件費計(B)	千円	1,517	1,537	1,537	1,537	1,537	1,537					
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,756	1,795	1,814	1,814	1,814	1,814					

事務事業名	隣保館地域福祉事業	担当部	市民生活部	担当課	隣保館	担当係	隣保館
-------	-----------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	健康で文化的な生活を営むことを目的に平成3年から事業を実施している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国における同和対策事業は、昭和44年同和対策特別措置法に始まり、平成14年まで特別対策事業が実施され、その後、一般対策事業として実施されている。 地域福祉事業は、平成3年度から取り組んでおり、地域の高齢者の生きがい対策や、健康意識の浸透を図っている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	身近な場所で行うため、気軽に参加でき楽しみにしている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	社会福祉法の規定に基づく隣保事業の主要な事業であり、同和問題をはじめとする人権問題の速やかな解決に資するための事業である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	同和問題をはじめ、様々な人権問題の速やかな解決は国及び行政の責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	地域住民のふれあい、健康増進を図ることで、同和問題をはじめとする人権問題の解決につながる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	定期的に継続して事業を実施し地域住民の健康増進を図る。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	高齢化社会の進行、健康意識の浸透を踏まえ、事業の多様化を図る必要があるが、関係職員・ボランティアの協力を得て人件費をかけずに事業を実施している。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	実費分を負担いただいております、適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	同和問題をはじめとする人権問題の解決が図られたと市民に理解されるまで事業を継続する。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			